



①・②
熱い演舞を披露する出演者

華やかに舞う

10/15~16

YOSAKOI ソーラン日本海本祭

第23回YOSAKOIソーラン日本海本祭が、町総合運動公園で3年ぶりに2日間にわたり開催されました。

2日間をとおして県内6市町の23チーム約800人が演舞し、各チームの工夫を凝らした踊りが披露されました。

本町からは、KITA舞人、KITA舞人ジュニア、宝達高校YOSAKOIソーラン部を中心とした「宝高乱舞」の3チームが参加しました。

出演者は新型コロナ感染予防用のマスク越しに元気よく掛け声を響かせながら、一糸乱れぬ舞を披露し観衆を沸かせました。

10/19 包括的地域連携協定を締結

明治安田生命保険相互会社

相互の緊密な連携と協力により、地域が抱えるニーズ課題やニーズに対応し、地域社会の持続的な発展に寄与することを目的として、町と明治安田生命保険相互会社が連携協定を締結しました。

今回は、地元の元気のプロジェクトの連携として「健康づくり支援に関すること」、「町民向け自立支援に関すること」、「結婚・出産・子育て支援に関すること」、「産業・観光振興支援に関すること」、「地域づくり創設支援に関すること」の5点の連携項目を定め、双方の強みを生かして連携を図っていきます。



▲明治安田生命保険相互会社の武隈正樹金沢支社長(右)と寛達町長(左)



金箔の箔押し体験

10/24

押水第一小学校

押水第一小学校の6年生11人が、色紙に金箔を貼る箔押しを体験しました。

町と連携協定を結んでいる箔座株式会社との連携事業として、県の伝統産業である金箔の箔押し体験を通して、宝達山で発掘された金の歴史を学ぶ取り組みです。

児童たちは、ウサギやフクロウの模様をかたどった紙を貼った色紙に色箔をのせた後、金箔をかぶせ、オリジナルの作品を作りました。

体験した児童は「テレビで見るよりも、実際の金箔はもっときれいだった」と感想を述べました。

- ① 完成した色紙を持って記念撮影
- ② 緊張しながら金箔をのせる児童
- ③ 余計な金箔をはらう様子